

# 「共謀罪」 対策本部ニュース NO. 6

## 集会・パレード大成功！

Q: **集会、パレード、大成功**でしたね！

A: ああ。雨が降って少々心配したけれど、**集会は、ホールがあふれていたから350人**くらいの参加。その大半が**パレードにも参加してくれたから、300人近い人達**が奈良の街で**共謀罪反対の意思を明らかに**してくれた。大成功といってよいと思うね。



朝日新聞より  
テロ対策は既存の法律で対応でき、計画段階で犯罪を成立させることは近代刑法の神髄みを棄すと問題点を指摘した。市民団体として登壇した奈良弁護士会「防犯増進や安保法解決といったものへの反対デモも、出るのが怖くなる」と述べた。奈良弁護士会の方針を金野は「目的が自助比だと感じ込ませている人々に、その目的はなにを知らせてもいい、防犯増進を止めたい」と話した。参加者らは集会后、市街をパレード、「内心の自由を守る」とも訴えた。

Q: こういうの初めてで、興奮しました。

A: そうかあ。安保法の集会のときには、まだ、君、奈良にいなかったからね。僕が、**今回の企画で強く感じたのは、クオリティの高さ**だ。若い人達も含めて、自主的に、創意工夫して取り組んでいたのが印象的だった。初めて言葉を交わす若い人もいたけれど、「言いたいこと、言わなければいけないことを言うために弁護士になったんだから」という言葉は強く印象に残った。

正直、共謀罪の問題は難しい。この問題をま正面から取り上げて、集会、パレードを成功させたことは大いに自信を持っていいと思うよ。

Q: 参加された市民の方々の受け止めはどうだったんでしょうね。

A: 知り合いの人から「いい集会だったね」と声をかけてもらったけれど、この言葉は遠慮無しに受け取っていいと思う。実は、市民の人達も、最初、「共謀罪」というテーマだけでは、中身が難しすぎて、集会・パレードをするのが難しいと感じていた。そこへ、弁護士会が、真正面から「共謀罪」の問題を取り上げて行動しようと問題提起をして、学習会も実施した。それを受けて、雨の中、あれだけの人が集まり、意思表示をした。これは、参加した市民の方々にとっても新鮮な取り組みだったと思うよ。



## 廃案に向けて、頑張ろう

Q: さて、これからどうするんですか？

A: それは僕に聞かれても困る(苦笑)。正直、この2ヶ月、学習会と市民集会・パレードのことしか考えてこなかったからね。

ただ、**まずは自信を持とう**。偶然だけれども、国会で審議入りしてからは、各地の弁護士会の先頭を切って、集会・パレードを成功させたんだから。これは、全国の中小規模会にとって大きな励ましになると思うよ。

とはいえ、国会の情勢はまだまだ予断を許さない。国会の会期末までに再度の集会・パレードができるかどうかは時期的に難しいものがあるかもしれないけれど、**市民からの学習会講師派遣要請とかにはしっかり応えられる体制はつくっておきたい**ね。あと、たった2ヶ月の取り組みにしては多くの会員の協力が得られたけれども、**あともう少し会員に問題意識を伝え切れていない所はある**と思う。そこは、今後の課題だね。皆で智恵を絞ろうじゃないか！



あふれる風船 (^\_^)



みんなで成功させよう。STOP共謀罪!

文責: 対策本部メンバー

宮尾耕二